

アートマニアながさき塾





塾長 内藤 修子

■ 塾長コメント ■

「アートマニアながさき塾」は長崎市民の方とアートを楽しみます。アート活動は市民と地域の繋がりを深め、まちを活気づけてきました。長崎のまち、場所にアートを展示することで、新しい発見にもつながりました。

例えば、長崎の歴史的な場所にアート作品を展示したところ、長崎の方でさえ知らない歴史を発見することになります。地域の方とは、アートを通して親しくお話することができるようになりました。長崎に住んでいてあまり興味がなくすごしたまちの素晴らしさにあらためて気が付くことでしょう。

またその他に、他県から親の介護に月 2、3 回長崎へ来られる方がアート作品を見て、まちの方と話をされて親しみを持ち、長崎の人の優しさに触れ嬉しく思われ、他県に帰られて「アートマニアながさき塾」の活動が広く知られました。

2年前「アートマニアながさき塾」が発足したころには、まず一歩進むこと、長崎で初めて試みることに、路地裏にアート作品を展示することを実験しようと始まったアート活動でした。副塾長と、先ず歩いてアート活動を試みようの合言葉で始めました。

このような良い展開になったのは、アート活動への塾生の熱意とまちの良さとアートの力だと思っています。

■ 塾の目的 ■

「アートマニアながさき塾」の目的はアート活動を通してまちを活気づけることです。

なにげなく通るまちにアートがある、なにげなく見る景色にアートがある、いつものまちが少し違って見える。

絵画、オブジェ、彫刻は、美術館で鑑賞するものと思っていた先入観が緩やかに、剥がれてきて、少し身近に感じられてくるのです。

アート作品を見た人は、地域の方とは、「あっ、これはなに？」から話してみる。人との会話が始まります。そこにいた作家と話してみる。そこから、また会話がはじまります。

アート活動により、地域の方の地元、地域愛、長崎愛に繋がって行きます。

アートが美術館から離れ身近にあることで市民力にまで発展し、市民を活気づける瞬間です。



■ 塾の研究・活動内容 ■

「アートマニアながさき塾」では、会議を月に 1 程度行いました。また、活動をする中で、イベントを行うときには 1 つのイベントごとに責任者を決めて、塾生同士で協力し企画、運営し、イベント終了後は反省会をして意見交換をしました。

6 月には、福岡視察研修及び講演会を実施しました。

また、2 年目の活動する上で、1 年目の活動で感じた次の 3 つことを心がけて活動しました。

- ① 1 年目の活動で、良かったことは必ず深めていくこと。
- ② 展示したアートを通して、アートと人とまちを繋げて、市民の方と話をすること。
- ③ アートイベントの内容はその「まち」にあっていること。

3 つ目は特に今後の活動の課題になります。

11 月には、アートストリートを実施しました。1 年目のアートストリートでは、塾生の知り合いの店舗に作品を展示していただくことが多く、地域と塾生の関わりの薄さを感じていました。

しかし、2 年目のアートストリートでは、1 年目と違い、実施店舗数は少なかったですが、地域の方とお話しをすることができ、深く地域との交流をすることができました。

例えば、諏訪小学校の正門前の The Class での作品展示は、作品が地域を取り組んだアート作品になっており、現代美術の醍醐味でした。道を歩く人は振り向き、側を通ると話かけられました。また、夜間の展示でもライトアップされ、展示したアート作品が店舗の目印にもなりました。

店舗とアートが融合して作品の寄贈も 3 店

舗ありました。これから、長くその店舗でアート活動が語られていくことと思います。

■ 塾活動の成果 ■

- ① 「アートマニアなる塾」では五島市奈留島でぬりえイベントを開催し、奈留島の方たちとアートの交流をし、多くの方にアートマニアながさき塾の活動をしていただくことができました。
- ② アートストリートを(樺島町・築町・寺町・鍛冶屋町)行いました。その際に、アートマップを作り、マップを手にもちアートストリートを回る企画を実施し、地域の方と交流を深めることができました。
- ③ 「あぐりの丘でアート遊び」ではワークショップ、アート展示を同時に開催しました。多くの市民の方にアートを楽しんでいただきました。
- ④ アートを身近に感じてもらうために、子どもから大人まで、楽しんでもらえる「ながさきもんぬりえ」第 2 集を制作しました。これは、塾生や塾賛同者 53 人の協力により 105 点のぬりえ原画ができました。

「ながさきもんぬりえ」第 2 集は、長崎伝習所まつりの際にも多くの方に楽しんでいただけました。



アートマニアながさき塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 28 年		
5 月 16 日(月)	長崎県勤労福祉会館	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回塾会議
6 月 19 日(日)	福岡市中央区天神渡辺通り 福岡市天神親不孝通り	福岡渡辺通り「3 丁目芸術学校」田部光子・平山隆浩講演会。アートスペース獲 小田律子講演会。
7 月 3 日(日)	市民活動センター 「ランタナ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 19 日福岡視察研修の感想反省会 ・ 年計画について、塾員の意見交換 ・ 奈留島交流展覧会について内容説明
7 月 23 日(水)	あぐりの丘	・ 10 月 16 日～23 日までアートマニアながさき塾企画「あぐりアートの丘」を企画予定
8 月 6 日(土)	市民活動センター 「ランタナ」	定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「アートマニアながさき塾」企画「アートマニアなる塾」イベント展覧会について ・ あぐりの丘あぐりの学校、イベント展覧会(10 月 16 日～23 日・ワークショップ)
10 月 1 日(土)	奈留島 笠松宏有記念館	「ながさきんものぬりえ」ぬりえイベント
10 月 2 日(日)	奈留島 笠松宏有記念館	奈留島の風景などをスケッチして、ぬりえを制作イベント
10 月 16 日(日)	あぐりの丘	「アートマニアながさき塾・森と丘とアート」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 折り紙 ・ アートパフォーマンス(アート+音楽) ・ 音が出るものを作ろう ・ 参加型系遊びアート
10 月 23 日(日)	あぐりの丘	10 月 16 日～23 日あぐりの丘レストランで展覧会。 23 日 14 時から紙芝居読み聞かせ
10 月 16 日(日) ～23 日(日)	あぐりの丘「アート遊び」	あぐりの丘「アート遊び」 あぐりの丘で野外室内展示
11 月 1 日(火)	市民活動センター 「ランタナ」	定例会 11 月 2 日に開催するアートストリートについて
11 月 2 日(水)	樺島町・築町・寺町・鍛冶屋町	アートストリートの実施
12 月 22 日(木)	長崎県美術館 県民ギャラリー展覧会事務所	定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ながさきんものぬりえ」ぬりえ本について。 ・ 長崎伝習所まつりについて ・ 「アートマニアながさき塾」4 月からの塾の在り方を討論意見交換会

日 時	場 所	内 容
平成 29 年		
1 月 15 日(日)	市民活動センター 「ランタナ」	・「ながさきんもんのぬりえ」第 2 集表紙について ・「ながさきんもんぬりえ」本の制作会議 (ぬりえ制作者 53 名、ぬりえ点数 105 点)
2 月 5 日(日)	市民活動センター 「ランタナ」	長崎伝習所まつりの役割分担 ・「長崎伝習所まつり」28 年度研究成果報告書記載、 塾生の研究感想文の依頼
3 月 20 日 (月・祝)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 「ながさきんもんのぬりえ」本のぬりえ。 ・折り紙 ・子どもから大人まで楽しむアート ・パネル展示など。
3 月 26 日(日)	正覚寺 (東小島)	タイトル:「昭和ながさき」長崎現代美術の展示



(3 丁目芸術学校)福岡市渡辺通り

福岡市中央区渡辺通り「3 丁目芸術学校」に見学に行きました。そこは、都会の裏通りで、車も通れない、150cm程の道幅、隣の家とは10cm間もないほどの近い家並みにありました。雰囲気は、ギャラリーというより、絵画をみるための小さな祠といった感じでした。中に入れば、その空間をうめるように力作が並び、それぞれの絵画が主張しており、引き込まれるようにみるみるうちにアートを感じてしまいました。

「3 丁目芸術学校」は、なにもなかった1軒の空き家を美術の家として開放し、地域の方が集まり絵画を見たり、イベントをすると、

若い方が集まり、それぞれ、自分の美術を語り合う美術サロンのようなところとなっています。また、この場を提供している田部光子さんに講演をしていただきました。

私たちアートマニアながさき塾は、市民とアートの共有、アートを通して市民を活気づけるということを目的として活動しています。

3 丁目芸術学校はそのような私たちの目標となるような場所でした。



また、3 丁目芸術学校のほかに、アートのスペース貌に行きました。アートのスペース貌は、小田律子さんが主宰で40年間も福岡市親不孝通りでギャラリーをしています。小田律子さんの講演会では、絵画展示のルーツのお話を聞きました。私たちも絵画展示は何度繰り返しても緊張します。それを40年間も続ける力を感じる講演会でした。



(アートスペース貏) 福岡市親不孝通り

定例会

イベントや、展覧会、アートストリートの内容を充実したものにしていくために、塾生の意見は貴重なものです。定例会では、イベントの参加者の年齢は、人数は、その日の天候は、など細かく相談して進行します。伝習所塾の経験者も3人塾生の中にはいて、はじめて、伝習所の存在を知った私をはじめ、塾生にとって、とても心強かったです。

この2年間で伝習所の存在は、市民の活動の良い場所だと認識しました。



定例会の様子

「アートマニアなる塾」

アートマニアながさき塾が「アートマニアなる塾」というイベントを企画し、奈留島の島民とアート交流をしました。奈留島の方の美術に対する向上心には学ぶものも多かったです。

イベントは2日間にわたり笠松美術館で島の方とぬりえやぬりえの原画を制作しました。



笠松美術館にてぬりえ原画制作の様子



五島市奈留島笠松美術館

あぐりの丘でアート遊び

10月16日～23日まで「アートマニアながさき塾」主催で、あぐりの丘でしかできない野外アートの展開や野外で音楽、森で読み聞かせ、大きな木でインスタレーションと芸術のコラボレーションを企画し、展覧会イベント「あぐりの丘でアート遊び」を開催しました。



初日の10月16日は赤い糸、風に吹かれて風鈴作り、風船遊び、アート折り紙教室を開催しました。参加者は150人もおり、楽しいアートイベントでした。



風の丘であそぼう



三角旗と風アート



躍動



あぐりの丘レストラン絵画展示





音楽とアート ラメソックス



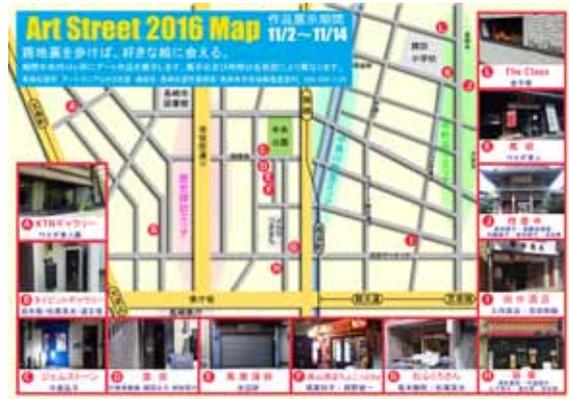
読み聞かせ スマイル

Art Street

「路地裏を歩けば、好きな絵に会える」を目的に 11 月 2 日～14 日の期間中市内 12 ヶ所にアート作品の展示を行いました。また、こどもから大人まで楽しめるようにマップを制作しました。

諏訪小学校の正門前の The Class は、白い壁面を赤い糸で装飾、不思議そうな面持ちで子どもたちが観ていたのが印象的でした。

皓臺寺^{こうたいじ}では皓臺寺社務所と本堂の 2 か所で展示を行いました。お墓にお参りする方が自然と観られる方法を取り、多くの方に観ていただきました。皓臺寺本堂では、折り紙展示もあり、思わず見入る人がいて、お寺の静かな雰囲気合った展覧会でした。



Art Street 2016 Map



皓臺寺本堂

11月10日、アートストリート視察会をしました。雨でしたが、塾生と長崎のまちを歩きながらアートストリートを楽しみました。KTN ギャラリーウエダ清人展をスタートして1時間30分で全てまわり視察研修することができました。



皓臺寺社務所展示



皓臺寺



タイピントギャラリー



アートストリート視察会 ちょこっとバー



アートストリート視察会 ちょこっとバー



アートストリート視察会 ジェムストーン



アートストリート視察会 萬順

2017年伝習所まつりの成果物

2017年「アートマニアながさき塾」
「ながさきんもんのぬりえ」第2集の表紙。



「アートマニアながさき塾」感想

上田清人副塾長：塾を続けて行く方法、続ける理由はなにか、組織をしっかりしたものにしなければならない。2年間の活動で、しっかりした、土台はできている。塾でしかできないこと。塾を出たからできることを考えてみましょう。

金子衛：アート活動をしている立場で話せること。小学生から高校生まで、懸命にアート活動、ワークショップに参加している姿をみて、学んだことは多い、むしろ自分自身が勉強になるアートです。特に、岡田仁さんのアート、林田さんのアートは、アートマニアながさき塾のアートの力を感じました。参加することが、どんなに素晴らしいことかと思いました。これから10年つづけていけば、この活動は素晴らしいものになります。

今道信子：2年間の行事には、全て参加しました。朝倉郡共星の里のように、なにもない廃校を美術館にしているやり方には感動しました。視察研修は塾活動にとって有意義でした。

林田英昭：内容はアート以外ではできない。アート活動を市民に伝えることはできたように感じます。アートの部分をもっと、ふくらませてもっと、市民と触れ合うことは、これからも必要です。



「アートマニアなる塾」についての感想

上田清人副塾長：奈留島の方の作品とアートマニアながさき塾の作品を同会場に展示して、交流を目的に行きました。ただ単に絵画を出品展示するだけではなく、交流しながら同時進行で奈留島の方と展示をしたことは、より親密になり心が穏やかになりました。また、島の方とぬりえをすることにより、絵画の話しへとつながった。次の日は実際にぬりえの原画を作る作業も和気あいあい奈留島との交流に繋がりました。決して作品の良し悪しではなく、わたしたちの企画、アートマニアながさき塾の本来の思いにつながる素晴らしい企画でした。

松尾英夫：奈留島視察研修江上教会でのキリシタン、教会の歴史についての信者の話がありました。笠松美術館は廃校を利用して美術館として、1階は美術室という地元の方の集う場所も兼ねていて、良い考えだと思う。宿泊場所は山小屋でとても良い環境で低料金、奈留島のおもてなしに感動しました。しっかり交流ができたと思います。全てにおいて、奈留島主体にしたのは良かった。

浜田勇：奈留島の方は廃校を美術館へとしているためだろうか、美術に興味のある方が多いように思う。そのことは、とても大切だと思う。心豊かに生活されている様子がうかがえました。金子衛さんの作品に奈留島の方が驚かれている様子がみえました。道さんの江上教会のスケッチをしている姿をみて、絵描きさんはこのようにしてスケッチをするのだなあとと思った。

近藤雅子：天气に恵まれ、旧友との再会、島の方との交流は楽しい研修の旅でした。大好きな奈留島の美術館で、自作を展示して、旧友との交流もできて、交流としての目的はできたと思います。

道正信：奈留島の方が絵画についてとても真面目に真剣にむかっておられるのに素晴らしいと思いました。島の方、鈴木さんのアトリエを訪問しました。60歳で絵に興味が出て描いている鈴木さんのアトリエは描いた絵画の多さにびっくりしました。現在80歳にはなられるだろうけど、益々意欲的に行動されていて、良い人生の先輩だと思いました。奈留島の方の素晴らしさはこの真面目に取り組む力にあるのだろうとかんじました。

竹ノ下磨須子：修復の仕事にもう何度も訪れている奈留島です。奈留島が私の第二の故郷です。島の方は優しく声をかけてくださいます。気軽に挨拶ができるようになり、益々、私は奈留島が大好きです。このような島にアートマニアながさき塾生が来て、島の方と展示会をして交流展をするのはとてもうれしく思います。私は修復士になる前は絵を描いていましたが、長らく仕事ばかりでした。2日目のアートマニアなる塾「ぬりえの原画を作ろう」に参加してみました。久々にスケッチをしてみました。奈留島は私をゆったりとみつめてくれていました。奈留島ありがとう。



奈びび! アートマニアなる塾
 ◎ 豊松実業記念館

表紙紙管所「アートマニアながさき塾」が奈留島初上陸☆
 毎月、豊松実業記念館1階でさまざまな催しを行います

👉 展覧会「アートマニアなる塾」
 絵画、造形、ぬりえ、コラージュ、陶芸、身近な小物などを展示。
 自分だけのもの、個性的なものに少しだけ、こだわって制作しています。

期間：10月2日(日)～10月10日(日)
 場所：豊松実業記念館1階 展示室

👉 イベント「奈留島アートであそびましょう！」

ながさきもんのぬりえ
 日時：10月1日(土) 午後2時～午後5時
 場所：豊松実業記念館1階 展示室
 内容：アートマニアながさき塾 実行
 【ながさきもんのぬりえ 第1集】のぬりえをします
 参加：無料

ぬりえのぬりえ
 日時：10月2日(日) 午前9時～午前11時
 場所：豊松実業記念館1階 展示室
 内容：参加者のあついで、奈留島のぬりえを作ります
 アートマニアながさき塾 実行予定の
 【ながさきもんのぬりえ 第2集】に参加予定
 参加：無料

参加受付も 奈留インフォメーションセンター
 お問い合わせ 0959-64-3333

主催：アートマニアなる塾
 共催：豊松実業記念館(特定非営利活動法人 DONDON 運営)
 協力：奈留島 豊松実業

アートマニアながさき塾

塾長	内藤 修子				
1	池辺 研	21	坂上 大晃	41	山口 勝則
2	石田 智	22	志岐 久美子	42	山下 昭子
3	今道 信子	23	高岡 絹子	43	山下 良夫
4	入内 良治	24	竹ノ下 磨須子	44	吉田形 勸
5	岩永 勉	25	竹谷 浩美	45	
6	上田 清人	26	寺島 由美子	46	
7	浦口 清子	27	中島 弘子	47	
8	江口 ひとみ	28	野濱 邦子	48	
9	岡田 仁	29	野濱 夏希	49	
10	岡元 和正	30	浜田 勇	50	
11	小野 勲	31	林田 信代	51	
12	柿本 静子	32	林田 英昭	52	
13	梶原 元子	33	坂東 信子	53	
14	金原 千妃	34	平谷 眞一	54	
15	金子 衛	35	藤原 佳子	55	
16	亀本 勝利	36	真崎 康三	56	
17	木村 瞳子	37	松尾 英夫	57	
18	近藤 雅子	38	松下 和代	58	
19	阪井 紀久子	39	道 正信	59	
20	境 真知子	40	森園 由美恵	事務局員	文化振興課 廣田 由貴